

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 03-002

PDCA	事務事業名	シティブロモーション推進事業	部課等名	企画部 企画課 企画担当	担当	浅野	
					内線等	226	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第1章 協働によりととも高め合うまち					
		節： 第1節 協働のまちづくりの推進					
		基本施策： 1. 市民協働の推進					
		単位施策： 個別施策：					
	根拠法令等	-					
	対象・目的	都市イメージや認知度の向上を図るため、市内外に広く半田の魅力を発信するとともに、市民の愛着や誇りの醸成を図るための施策を戦略的に展開し、定住人口及び交流人口、関係人口の増加を目指す。					
	目的を達成するための手段・活動内容	情報発信事業（専用サイトの運用、広告事業等）やまちへの愛着を醸成する事業（まちの魅力発見ツアー等）の実施により、本市のファンを増やし、定住人口の獲得を目指す。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①専用サイトのアクセス数	7,833	27,840	28,229	件	
		②まちの魅力発見ツアー参加者数	103	174	0	人	
		③半田市公式インスタグラムフォロワー数（年度末時点）	920	1,499	2,120	人	
		④結婚応援給付金申請者数	-	-	41	人	
		事業費	3,303	2,884	6,767	千円	
		人件費	8,120	8,694	7,406	千円	
	総事業費	11,423	11,578	14,173	千円		
	活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位		
	①専用サイトのアクセス数1件あたりのコスト	117	36	25	円		
	②まちの魅力発見ツアーに係る参加者1人あたりのコスト	8	9	0	千円		
	③結婚応援給付金に係る申請者1人あたりのコスト	-	-	103	千円		
	成果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①半田市に好意的なイメージを持っている転入者の割合	実績値	34.8	39.0	45.0	%
目標値			60.0	60.0	60.0		
②これからも半田市に住みたいと思う市民の割合		実績値	66.6	57.8	68.3	%	
		目標値	75.0	75.0	75.0		
③半田市を知っている人で、好意的なイメージを持っている東海3県在住者の割合		実績値	-	-	46.8	%	
	目標値	-	-	70.0			
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地		-
	事業の評価・課題	C 専用サイトによる情報発信や市民ライターによるまちの魅力発信、鉄道のポスター広告などの取組を実施し、露出を高めた結果、インスタグラムのフォロワー数増加につながった。また、コロナ禍において、新たに結婚応援給付金を創設し、結婚式等の延期や中止によりキャンセル料等の費用負担が生じた夫婦への給付を行い、市への愛着醸成に資することができた。今後、マスメディアへの働きかけ方や推進体制の強化など、よりよい露出の高め方について考える必要がある。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 シティブロモーションは、すぐに成果があらわれるものではなく、継続して実施することで半田市のイメージ向上やまちへの愛着醸成につながるものである。本市のファンを増やし、将来的な定住人口を獲得していくため、新たな半田のお土産品の開発などのインパクトある取組を実施していく。					
	令和3年度の目標	成果指標	目標値		単位		
		①半田市に好意的なイメージを持っている転入者の割合	60.0		%		
		②これからも半田市に住みたいと思う市民の割合	75.0		%		
	③半田市を知っている人で、好意的なイメージを持っている東海3県在住者の割合	70.0		%			